

2018（平成 30）年度
パラオ共和国選手団事前キャンプ
実施報告書（概要版）

2018（平成 30）年 7 月

茨城県 常陸大宮市 政策審議室 企画政策課 東京オリパラ推進室

パラオ共和国選手団 事前キャンプ実施概要

○これまでの経緯

茨城県常陸大宮市は、2016（平成28）年6月にパラオ共和国の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における「ホストタウン」として国の第2次登録を受けた。同じくパラオ共和国の「ホストタウン」である宮城県蔵王町と連携し、2017（平成29）年4月にパラオオリンピック委員会と締結した「パラオ共和国選手団事前キャンプ実施に関する基本合意書」に基づき、事前キャンプを下表のとおり受け入れた。

キャンプ期間中は、トレーニングをはじめ、学校訪問や日本文化体験等を通して市民等との交流を行い、パラオ共和国との更なる友好関係の構築を図った。

本報告書は本市において受け入れた、陸上競技チーム、水泳チーム、柔道チームについて取りまとめたものである。

なお、東京2020大会に向けた事前キャンプ実施は茨城県内で初めてである。

○常陸大宮市受入分

競技	人数	期間
陸上競技	6人【選手5人・コーチ1人】	6月2日～12日
水泳	5人【選手4人・コーチ1人】	6月13日～23日
柔道	2人【選手1人・コーチ1人】	6月23日～30日

○蔵王町受入分

競技	人数	期間
アーチェリー	3人【選手3人（うち1人は兼任コーチ）】	6月12日～23日
柔道	1人【選手1人】	7月1日～15日



2017（平成29）年4月21日

パラオ共和国選手団事前キャンプに関する
基本合意書締結式

基本合意書

パラオ共和国（オリンピック委員会）（以下「甲」という。）と宮城県蔵王町（以下「乙」という。）及び茨城県常陸大宮市（以下「丙」という。）は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）における事前キャンプについて、次のとおり合意を締結する。

第1条 甲は、東京2020大会に臨場（出席予定）する選手の事前キャンプを乙及び丙において実施する。

第2条 乙及び丙は、甲の事前キャンプをおもてなしの心で迎え入れる。

第3条 事前キャンプの実施にあたり、甲は次の事項を行う。

(1) 事前キャンプに必要な情報や乙及び丙に提供すること。

(2) 乙及び丙が実施するホストタウン文化交流事業に協力を要する事項を要請すること。

第4条 事前キャンプの実施にあたり、乙及び丙は次の事項を行う。

(1) 必要な施設及び練習環境の提供を要請すること。

(2) 練習のホストタウン文化交流事業の実施に向けた調整を行うこと。

第5条 乙及び丙は、甲の事前キャンプに必要な経費（日本国内で要する経費に限る。）を負担する。

第6条 甲、乙、丙は、東京2020大会による交流を契機として、スポーツ等の交流を推進する。

第7条 本合意書の効力は、締結の日から5年間とする。

第8条 本合意書に定めのない事項又は本合意書の条項の解釈について協議が生じた場合は、互好的に協議を行い、解決を図るものとし、必要に応じて、書面を交わすものとする。

以上の成立を証するため、本合意書3通を作成し、それぞれに署名のうえ、各自その1通を保有する。

2017年4月21日

April 21, 2017

甲 パラオ共和国
オリンピック委員会委員長
President PNOC

乙 蔵王町長
蔵王町長
Mayor of Zaō Town

丙 常陸大宮市長
常陸大宮市長
Mayor of Hitachinaka City

Memorandum of Understanding

This Memorandum of Understanding (hereinafter referred to as "MOU") is made and entered into by and among the Palau National Olympic Committee (hereinafter referred to as "PNOC"), Zaō Town of Miyagi Prefecture (hereinafter referred to as "Zaō"), and Hitachinaka City of Ibaraki Prefecture (hereinafter referred to as "Hitachinaka") concerning pre-games training camps for the 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games (hereinafter referred to as the "Tokyo 2020 Games") in accordance with the following terms:

Article 1. Palau will conduct pre-games training camps for athletes participating for expected to participate in the Tokyo 2020 Games in Zaō and Hitachinaka.

Article 2. Zaō and Hitachinaka will host Palau's pre-games training camps with hospitality.

Article 3. Palau will perform the following in conferring its pre-games training camp:

(1) Provide Zaō and Hitachinaka with information necessary for hosting the pre-games training camp.

(2) Participate to the extent possible in the host-towns exchange projects carried out by Zaō and Hitachinaka.

Article 4. Zaō and Hitachinaka will perform the following in hosting the pre-games training camp:

(1) Arrange to provide necessary facilities and the training environment.

(2) Provide coordination to carry out host-towns exchange projects during the camps.

Article 5. Zaō and Hitachinaka will bear the expenses needed for Palau's pre-games training camp (limited to expenses incurred only in Japan).

Article 6. Zaō and Hitachinaka will hold separate consultations on the details of the sharing of expenses prescribed in the preceding paragraph and sign a letter of confirmation.

Article 7. Following the exchange associated with the Tokyo 2020 Games, Palau, Zaō, and Hitachinaka will promote exchanges in sports.

Article 8. Matters not stipulated in the Memorandum and any other ambiguities that arise in relation to the interpretation of any article in the Memorandum will be settled through friendly consultation. A written document will be signed concerning such settlement as necessary.

In witness of the above, the three parties have signed the Memorandum in triplicate, and each party holds one copy.

乙 蔵王町長
蔵王町長
Mayor of Zaō Town

丙 常陸大宮市長
常陸大宮市長
Mayor of Hitachinaka City

基本合意書

パラオ陸上競技協会 事前キャンプ実施内容

選手：Ian Koshiba (イアン・コシバ) 男性 24 歳
Rodman Teltull (ロドマン・テルトゥル) 男性 24 歳
Gwynn Uehara (グウィーン・ウエハラ) 男性 20 歳
Ryon Gaines (ライオン・ゲインズ) 男性 19 歳
Adrian Ililau (エイドリアン・エリラウ) 男性 19 歳
※テルトゥル選手は、2016 リオデジャネイロオリンピック出場 (男子 100m)

コーチ：本多 美月 女性
※青年海外協力隊 (JICA) 隊員

期 間：2018 (平成 30) 年 6 月 2 日 (土) から 12 日 (火) まで 11 日間



左から本多コーチ (JICA 隊員), テルトゥル選手 (2016 リオ五輪出場),
ゲインズ選手, コシバ選手, エリラウ選手, ウエハラ選手

練習風景



日本文化体験 (茶道)



市立大宮中学校で生徒と陸上交流

パラオ水泳協会 事前キャンプ実施内容

選 手：Shawn Dingilius Wallace (シャウン・ディングリウス・ウォレス) 男性 24 歳
Osisang Chilton (オシサン・チルトン) 女性 24 歳
Roylin Akiwo (ロイリン・アキウォ) 女性 20 歳
Noel Kaene (ノエル・キーヌ) 男性 19 歳
※ウォレス選手は、2016 リオデジャネイロオリンピック出場 (男子 50m 自由形)

コーチ：Billy Brown (ビリー・ブラウン) 男性

期 間：2018 (平成 30) 年 6 月 13 日 (水) から 23 日 (土) まで 11 日間



練習風景

前列左からブラウンコーチ、アキウォ選手、チルトン選手、
後列左からウォレス選手 (2016 リオ五輪出場)、キーヌ選手



市立緒川小学校で児童と水泳交流



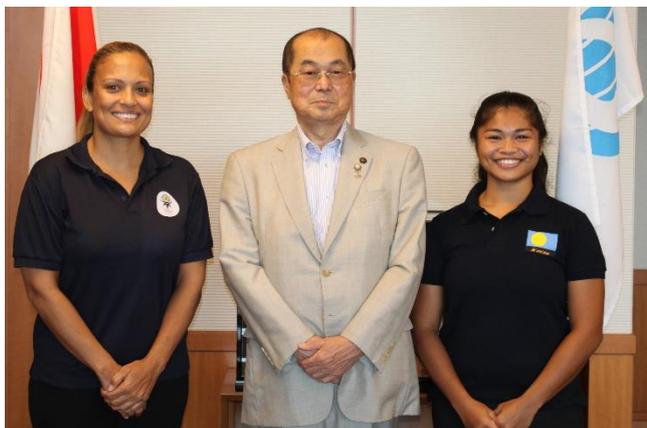
児童と給食交流

パラオ柔道連盟 事前キャンプ実施内容

選手：Keiza Tulop（キーシャ・トゥーロップ） 女性 20歳

コーチ：Jennifer Anson（ジェニファー・アンソン） 女性

期間：2018（平成30）年6月23日（土）から30日（土）まで 8日間



左からアンソンコーチ、三次市長、トゥーロップ選手



練習風景



市立大宮中学校で生徒と柔道交流



生徒と給食交流

内閣官房ホストタウンアクション

ホストタウンとは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体を、内閣官房が登録するものです。

☆常陸大宮市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のパラオ共和国のホストタウン・事前キャンプ地です。

